

令和5年5月18日

保護者様

三木市立吉川小学校
校長 長谷川 珠里

吉川小学校をより良くしていくために（3）

向暑の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校教育にご理解ご協力をいただき深く感謝いたします。

吉川町内の4小学校が統合して、2年目を迎えました。令和3年度は「吉川小学校開校を迎えて」、令和4年度は「吉川小学校 新たなスタートを迎えて」という文書にて、学校の様子や保護者にお伝えしたい事等を記載してお配りしてきました。

今年度は毎週末の文書でのお知らせとはなりません。必要に応じて「吉川小学校をより良くしていくために」をお渡ししたいと思います。これは昨年度のPTA本部役員が中心となって「吉川小学校をより良くするためのアイデア」を募集し、実現できることから取組を進めて頂いた流れを大切にしていきたいと思ったからです。保護者のネットワークを構築して頂きながら本校の学校づくりに参画いただけると幸いです。

なお、本校のホームページにも同様のものをUPしていますので、過去の文書も確認いただけます。卒業式の服装等、必要に応じてご利用ください。

☆学校HP（ホームページ）アドレス <http://www.miki.ed.jp/el/yokawa/>

☆検索窓に「吉川小学校」を入力して検索ください。



学校教育目標

心豊かに たくましく 学びを深めあえる子の育成

～ ふるさとを愛し 夢を育む 学校づくり ～

1 スマイル学級（放課後等教育事業）開級式

5月12日（金）にスマイル学級の開級式を行いました。スマイル学級では学年やクラスの枠を越えて、一人ひとりに合わせた学習や協働活動、またスポーツや文化活動、地域の方々との交流などを行っていきます。

スマイル学級の活動を通して、

- ① 友達や地域の人達と一緒に、学習や体験活動を通して仲間づくりをします。
- ② 活動の中でたくさんの人と触れ合う事で、人権課題に気がついたり、豊かな人権感覚を育んだりします。
- ③ 学習に見通しを持ち、自分で目標を決めて学び続ける力を養います。



1学期は開級式、堀光美術館見学、詩吟・踊り教室、プールを予定しています。夏休みは親子陶芸体験・絵画体験を7月25日（火）9:00～15:00を予定しています。現在、154名が在籍しています。習い事等で欠席する曜日もありますが、その場合も入級可としています。

- 開級式は
- 1 児童代表 はじめの言葉
 - 2 学校教育課 田中課長のお話
 - 3 地域代表 穂積運営委員長のお話
 - 4 児童代表 おわりの言葉 の流れで行いました。

おわりの言葉では児童代表が「ぼくは、去年もスマイル学級に入っていました。みんなと活動するのが楽しくて、今年も参加しました。今年もプールやブラインドサッカーを仲間みんなと楽しみたいです。今年は1年生に頼られるようになりたいです。そして、遊ぶときは無邪気になっておもいきり遊ぶ、そしてみんなと楽しく仲間づくりができるスマイル学級にしていきたいです。」と締めくくりました。今年の開級式には三木市教育委員会の大北教育長にもご出席いただきました。

2 漢字検定について



吉川中学校から一緒に行いませんかとお誘いを受けていた漢字検定（7月7日の実施予定）には25名が受検希望をしています。

保護者には吉川中学校への送迎をお願いする事となりますがよろしくお願ひします。詳細は受験予定者へ後日お知らせします。

3 未来を創る学力育成三木モデル 校内研修について

学校生活では子ども達が楽しみしている休み時間だけではなく、授業時間を充実させていく必要があります。「授業が楽しい。勉強は面白い。できる事が増えていく。もっともっと学びたい。」といった授業づくりをしていきたいと思ひます。

そのためには、教職員研修で共通理解を図り、指導方法を工夫していく事が求められています。



5月10日（水）に神戸大学大学院人間発達環境学研究科 岡部恭幸教授に来校いただき「吉川小学校の授業づくりについて～新築型の授業づくりをどう進めていくか～」をテーマでご講演いただきました。次回は、研究授業を行い、学校全体で未来につながる学力育成を図っていききたいと思ひます。

4 第1回吉川小・中学校 学校運営協議会を開催しました

5月16日（火）に第1回吉川小・中学校 学校運営協議会を開催しました。今年度から吉川小・中学校、緑が丘中学校で学校運営協議会（コミュニティスクール）が発足します。

初回の学校運営協議会は委員（吉川小学校学校評議員、吉川中学校学校評議員、まちづくり協議会代表等計10名）の委嘱や組織作り（会長・副会長等の選出）を終え、主には吉川町の児童生徒がどのように育ってほしいか等について、意見交換を行いました。

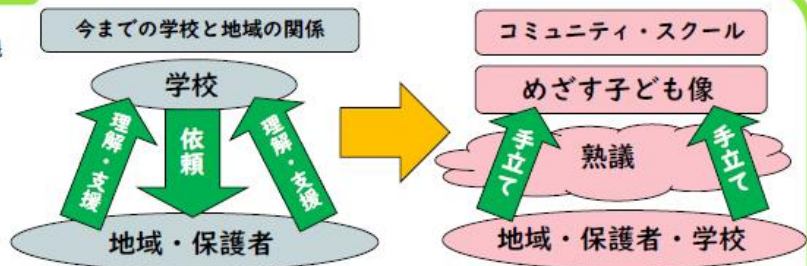
活発な意見交換の場となりましたが、各委員の考えや思いを伝えあう中で、これからの活動の方向性について共通理解を図るとともに、吉川小・中学校の学校運営についての基本方針を承認していただきました。次回は6月末を予定しています。



コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している学校のことであり、地域と保護者や学校が一体となって子どもを育てていく仕組みです。

学校という環境だからこそできるリアルな体験、教職員以外の大人との出会いの場等を地域・保護者・学校が協働し、創り出します。



学 校

子どもにつけたい力を育成するための目標やビジョンを共有し、その達成に向けた手立てを共に考えます。（作戦本部や応援団としての役割）

学校運営協議会

委員（地域や保護者等の代表）の主な役割

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- ・学校運営や職員の任用に関して、意見を述べるができる。
- ・協議会で考えられた手立てを地域へとつなぐ。
- ・学校関係者評価を行う。



学校運営協議会委員や推進員等が連絡・調整を行います。



子どもの学びと育ちを支えるための活動を行います。

地 域 (地域学校協働本部)

地域住民
文化・スポーツ団体

保護者
企業・NPO

社会教育施設・団体
など

学校運営協議会から伝えられた手立てに合わせ、地域住民や保護者等様々な方が、学校と協力し、具体的な活動を展開していきます。